

## 県内の現状と課題

- 農林水各部の生産性向上PTの活動等を中心に、ニーズ抽出は進展しているものの、第一次産業以外の分野のニーズ抽出は限定的
- 高知版Society 5.0の実現には、①関連企業（技術）の県内集積の促進、②デジタル技術を県内のあらゆる分野の課題解決に生かす取り組みが必要

※高知版Society 5.0（ソサエティ ゴーテンゼロ）とは

- IoTやAI、ビッグデータ等の最先端のデジタル技術を活用し、県内のあらゆる分野の課題解決を図るとともに、開発されたシステムの地産外商や企業集積による雇用創出等の産業振興を目指す

### スタートライン

### プロジェクト創出に向けたマッチングの推進

### マッチング成立済みのプロジェクトの推進

### 製品完成

#### IoT推進ラボ研究会の現場訪問によるニーズ抽出

- ・第一次産業、医療・福祉、防災、教育等のあらゆる分野の課題解決に対応
- ・研究会会員と現場訪問を行い、現場ニーズ・解決策に関する意見交換会を開催

#### 第一次産業等における生産性向上プロジェクト

- ・関係部局等のPTが、川上から川下までの全過程の中でボトルネックを見つけ、IoTや機械の導入等のニーズを抽出

農業振興部 IoT推進 PT	林業・木材 産業生産性 向上PT	水産業生産 性向上PT
----------------------	------------------------	----------------

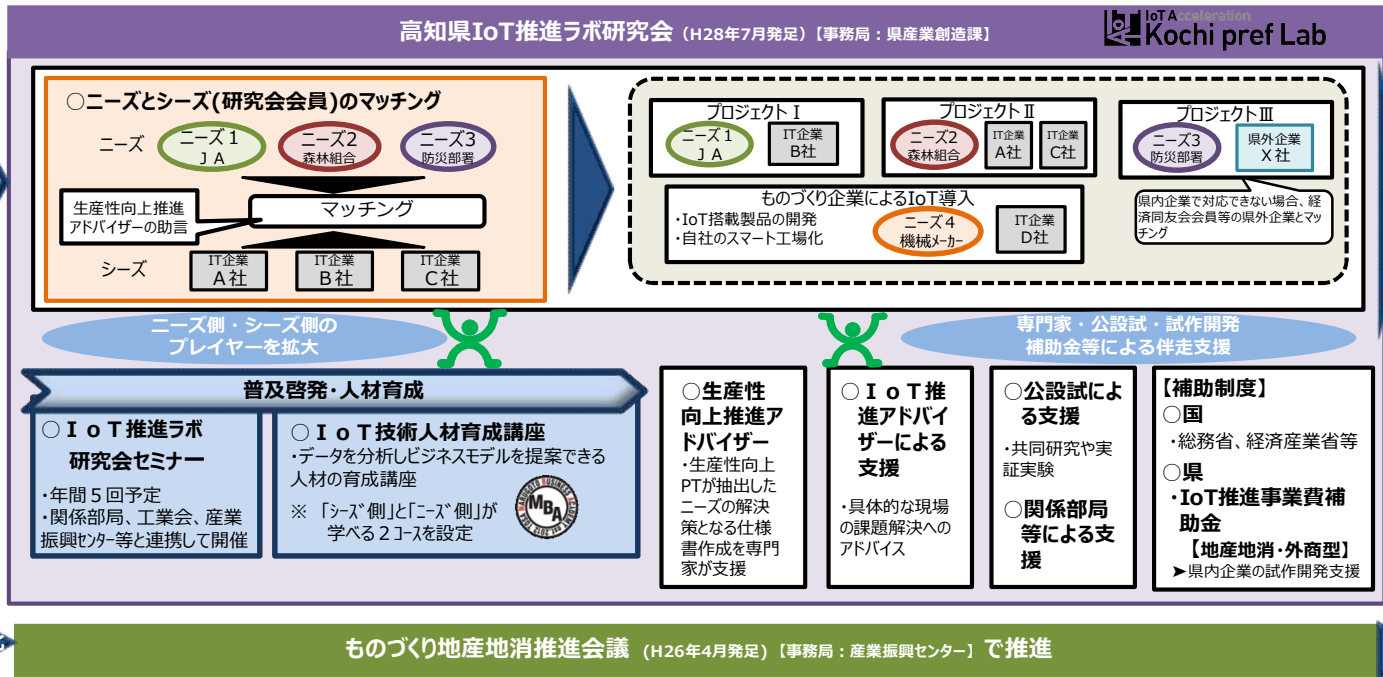
#### 高知デジタルフロンティアプロジェクト

- ・農林水産業分野に加え、県行政の様々な分野の計画に、課題解決のためSociety 5.0関連技術を活用することを各部局が位置づけ、現場のニーズを抽出し、新たなビジネスの機会などを開拓

産業振興、健康長寿県、少子化対策、中山間総合対策、南海トラフ地震対策、豪雨災害対策、社会資本整備、スポーツ振興 等

IoT化

機械化



■プロジェクトがビジネスとして自立化

■高知発のIoTシステムや機械を県内へ地消、県外・海外へ外商

プロジェクトをビジネスとしてスケールさせるための個別チームによる支援

### ものづくり地産地消推進会議 (H26年4月発足)【事務局：産業振興センター】で推進

#### 新 IoT推進事業費補助金【Society 5.0推進型】

#### IT企業によるシーズ提案

- ・県が提示する大枠のテーマに沿った実証実験を公募（医療・福祉、中山間地域対策、防災、環境、土木、教育、その他の行政課題）

4者以上でコンソーシアムを組成（構成員のうち1者以上は県内IT企業を含むこと）

- 県内IT企業とのコンソーシアム組成支援（県外企業から希望があった場合、研究会会員から募集）
- 実証フィールドのニーズ側事業者の紹介

#### 事業採択・実証実験の推進

- <以下の事業は不採択>
- ・研究会で既に取り組んでいるプロジェクトと内容が重複する事業
  - ・県内企業の事業活動を阻害（民業圧迫）する恐れのある事業
  - ・公益性を欠く事業（民間で対応すべき案件等）

・県内企業の事業活動に最大限配慮  
・県内へのレガシー創出を重視

- 優れたシーズを有する県外企業の実証実験を呼び込むことにより、地域課題の解決が加速
- 県外企業との連携により、県内企業の技術力が向上（Society 5.0関連技術の県内集積が促進）
- Society 5.0関連の実証フィールドの地位を確立し、企業の立地や産業集積が拡大

#### 新 県内企業のデジタル化のワンストップ支援の推進 <総合相談窓口の設置>

#### フェーズ1

業務内容診断  
課題抽出

#### フェーズ2

ITツール（汎用パッケージ品）の導入

#### フェーズ3

ICT/IoT製品の  
新規開発

#### フェーズ4

デジタル技術による  
起業・新事業展開



IT人材の  
育成・確保

ニーズ抽出発のプロジェクト創出

シーズ側企業のプロジェクト創出